

甲子園きよう開幕

「実感湧いてきた」

光星ナイン
 開会式リハ

第90回全国高等学校野球選手権大会の開会式リハが6日、甲子園球場で行われ、横が優勝を待ち先頭、南と、改めて出場する実感が湧いてきたと話した。光星ナインは奥村主将は、青森代表の八光軍ナインも入場進行主将を先頭に47番目に登場。大きく腕を振って行進。半日から兵庫県西宮市の大阪



開会式のリハで進行する光星ナイン＝6日、甲子園

ガス今津野球場で約1時間半打撃練習に流した。2日の関西入の後に体調を崩していた中軸の花岡小次郎は、6日から練習に復帰。相手右腕を想定した近距離打撃では、本が楯越え、「調子が落ちてなくてほっとした」と安堵の表情を浮かべた。

式に臨んだ後、午後から今津球場で練習する。
 4投手が投げ込み
 ○6日の練習で、光星は櫻井一樹、和田悠希、安藤廉二、戸田裕史の4投手がそろって投げ込み。市尼崎との初戦へ向け、徐々に球数を増やし始めた。特に右腕和田はこの日約80球を投げ込んだ。急に調子が上がったと話す。直球、カットボールにスライダー、カーブ、フォークとほぼ全球種を試した。「球の走りはまずまず。思った所に投げられた」と納得の表情を浮かべた和田。対戦する市尼崎について「兵庫大会では、高めに浮いたところを速攻せずに打っていたが、低めにも手を出していたと話し、登板したら、しっかりと低めに投げ込みたい」と本番を見据えた。

甲子園だよ!

⑭ 吉村健汰(3年)＝大阪・城東中出



阪神・北條さんのように

6日からは朝の素振りもスタートしました。100回ほどスイングしましたが、朝が早いので少しづつです。打撃練習では強い当たりも出るようになってきました。もっと調子上げて、試合に出だろしから打てるようにしたいです。宿舎は夜、阪神の試合を見ています。0日の北條さんが活躍しているのを見て、自分も先輩のように打てるように頑張ります。



市尼崎の竹本監督(右)と握手を交わす八光光星の仲井監督(左)＝6日、甲子園

光星・仲井監督 機動力絡める 市尼崎・竹本監督 4番を抑える

大会第3日の9日、1回戦で対戦する八光光星と兵庫代表の市尼崎。甲子園で6日、光星の仲井監督と市尼崎の竹本監督は相手の印象や勝負のポイント、意気込みを聞いた。
 相手の印象は、
 仲井監督 投手の小林君を中心に守備力の高いチーム。また先発の人中6人が2年生で思いつりがいい。竹本監督 甲子園の常連校で強いチーム。調を借りつつも、精いっぱい戦いたい。
 奮起する選手は、
 仲井監督 相手主戦の平